国語

TYPE L

1 二 三

「私たちにできるSDGs（エスディージーズ）を提案しよう」

～資料を活用するなどして，自分の考えが伝わるように表現を工夫する～

自分の考えを相手に伝えるためには，資料を活用しながら話すことが大切です。そこで，本授業アイディア例では，自分の考えが伝わるように資料を活用したり，資料を提示しながら話す仕方について検討したりすることの指導事例を紹介します。なお，本授業アイディア例は，第５学年以上を対象としています。

授業アイディア例

Ａさんたちの学級では，自分たちにできるSDGsの取組について提案するために，必要な情報を集め，提案内容を検討し，話の構成を考えてきました。ここでは，発表に向けて表現を工夫するために，自らが立てた課題について，「資料を効果的に活用しながら話す」という観点で，同じグループの児童が助言し合いながら課題を解決している場面を示しています。

Ａさんが立てた課題　相手や目的に応じて，話の内容に合う資料を用意する

Ａさん

「マイクロプラスチック」が及ぼす影響のことを伝えたいけど，この資料できちんと伝わるかな。話してみるから，聞いてもらっていいかな。

助言をもらう前

マイクロプラスチックとは

助言をもらった後

マイクロプラスチックとは

・プラスチックが小さく砕（くだ）けた物
・有害な物質とくっつきやすい

【スピーチの一部】

世界では年間約八百万トンものプラスチックが、海を汚染するだけでなく、そこに住む生き物にも影響を与えています。中でもマイクロプラスチックは海の生き物だけでなく、私たち人間にも影響を及ぼします。例えば…

こんな資料を用意してみたけど，どうかな。

Ａさんは，聞き慣れないマイクロプラスチックという言葉を文字で示してくれているので，聞いている人に正しく伝わると思うよ。

マイクロプラスチックという言葉を初めて聞いたよ。みんなも知らないと思うから，説明も示したらどうかな。

ポイント　音声言語だけでは理解しにくかったり，誤解を招きそうだったりする場合などに資料の活用が考えられます。実際に用いる資料としては，相手や目的に応じ，必要な文言や数値などの引用，実物や画像，映像などの使用，図解したものや重要な語句の定義付けなどの明示が考えられます。

Ｂさんが立てた課題　目的や意図に応じて，資料を提示するタイミングを検討する

Ｂさん

昔のお店の様子が分かる写真を，おばあちゃんから聞いた話の時（１）に出すか，意見を言う時（２）に合わせて出すかを迷ってるんだ。資料を出すタイミングで聞く人の印象が違うと思うんだけど，どちらのタイミングで出したらよいのかを比べて聞いてもらっていいかな。

【スピーチの一部】

今は買い物に行くと、野菜はポリ袋に包装され、肉や魚もトレーに入れて売られています。(1)

おばあちゃんが子供のころは、野菜は買い物かごに入れたり、肉や魚も紙や新聞紙に包んでもらったりしたそうです。今でも実際に野菜をそのまま販売しているお店もあるようです。(2)

私は、過剰な包装はなくていいと思います。

〈提示する写真〉

おばあちゃんの話の時（１）に示した方がいいと思う。「おばあちゃんから聞いた話」と写真を関係付けて聞くことができたよ。

私もその時（１）で示した方がいいと思う。写真があったから当時のことを具体的にイメージしながら聞くことができたよ。

意見を言うタイミング（２）で示した方がいいかな。伝えたいことが強調できていたと思うよ。

なるほど。私は，意見を強調するよりも，包装のない販売の仕方をイメージして聞いてほしいから，おばあちゃんの話の時（１）に出すようにするね。

ポイント　スピーチやプレゼンテーションをする際には，目的や意図に応じて，より効果的な資料提示の順番やタイミングなどがあることを理解し，自ら判断できるように指導することが大切です。

問題の概要と結果

1 調べたことについて，資料を使ってスピーチをする（津田梅子の紹介）

1二 正答率 75.0%

津田梅子についての【スピーチ】の練習で，〈資料②〉と〈資料③〉を使った理由の説明として適切なものを選択する

1三 正答率 81.1%

津田梅子についての【スピーチ】の練習の［　　］の部分で話す内容として適切なものを選択する

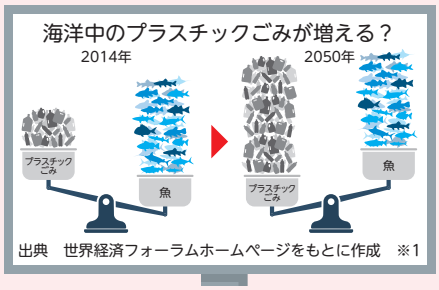
学習指導要領における内容

〔第５学年及び第６学年〕
思考力，判断力，表現力等
A　話すこと・聞くこと　ウ

Cさんが立てた課題　目的や意図に応じて，資料を提示しながら話す内容について検討する

Cさん

資料を使って，海洋中のプラスチックごみが増えていることを伝えたいんだ。話す内容はこれでいいかな。



【スピーチの一部】

世界では、毎年、プラスチックごみがたくさん海洋へ流出しています。このままでは、**この資料のとおり**、海洋中のプラスチックごみの量が増えていきます。

助言をもらう前

「この資料のとおり」って言っていたけれど，どういうことか分からなかったよ。

資料のどこに着目してほしいのか，説明を付け加えたらどうかな。

【スピーチの一部】

世界では、毎年、プラスチックごみがたくさん海洋へ流出しています。**この資料の天びんの傾きやプラスチックごみの量の変化が示しているとおり**、2050年には海洋中のプラスチックごみの量が魚の量を上回ると言われています。

助言をもらった後

※1　出典　WORLD ECONOMIC FORUM(2016).The New Plastics Economy 「Rethinking the future of plastics」

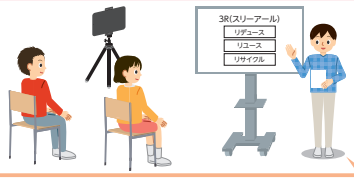
伝えたいことを踏まえ，資料を使って聞き手に着目してほしい部分を明確にし，その部分が何を表しているのかを聞き手に伝わるように説明することで資料をより効果的に活用することができます。ポイント

Dさんが立てた課題　場面や相手を意識して，話し方について検討する

Dさん

自分が話している様子と聞き手の反応や表情も確認したいな。

話し手と聞き手の双方を動画で撮影している場面



【スピーチの一部】

市の環境課の方に話をうかがったところ、「リデュース」「リユース」「リサイクル」の３Ｒの取組を進めているということでした。また、清掃活動も行っているとおっしゃっていました。そこで、…

撮影した動画を確認している場面

３Ｒの説明の前はうなずいて聞いてくれているけど，３Ｒの説明をしている時は，聞いている人が分かりにくそうな表情をしているね。

そうそう，確かに，そこの部分は分かりにくかったよ。

話すスピードが速いな。「リデュース」「リユース」「リサイクル」は，大事な言葉だし聞き間違えそうな言葉でもあるから，もっとゆっくり話してみよう。

実際に発表する場面では，聞き手のうなずきや表情にも注意することが必要です。自分のスピーチの改善点を検討するために，話す様子や聞き手の様子を動画で撮影するなどして，振り返ることができるようにすると効果的です。ポイント

グループで助言し合った内容について，必要に応じて全体で共有することが考えられます。特に，グループで解決できなかった課題を取り上げて全体で解決していくことで，さらに学びを深めていくと効果的です。

本授業アイディア例　活用のポイント！

- 本授業アイディア例のように，一人一人が自己の課題を見いだし，課題について検討したり改善したりしながら学習を調整する過程を位置付け，協働的に解決しながら話す力を高めることができるように指導すると効果的です。
- 資料を提示する際や，自分の発表を振り返る際などにICTを活用すると効果的です。

参照「令和3年度　報告書　小学校　国語」P.21～P.28，「令和3年度　解説資料　小学校　国語」P.12～P.17